

公立病院経営強化 ガイドライン(総務省)

公立病院の役割・機能の明確化・連携強化を図り 持続可能な地域医療提供体制の確保が重要

【当院を取り巻く医療需要】

- ・ 将来的患者推移 → 高齢者疾患を中心とした医療ニーズが高まる
- ・ 患者受診動向 → 市内発生の救急患者の約9割が当院へ搬送
東近江医療圏で唯一の救命救急センター、地域周産期母子医療センターを有し急性期医療の中心を担う
- ・ 医師・看護師等の確保に加え、医師の時間外労働規制への対応 → 働き方改革への対応



当院が 担う役割

- ・ 東近江医療圏で高度急性期、急性期病院として中核的な役割を担う
- ・ 近隣の回復期機能を有する病院と連携するなど地域医療へ貢献

近江八幡市立総合医療センター公立病院経営強化プランの推進

医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ 基幹型臨床研修病院として継続的に初期臨床研修医を採用、看護実習生の積極的な受け入れ、適切な労務管理の推進等

新興感染症への平時からの対応

- ・ 感染管理専門人材の育成、院内感染対策徹底、感染防護具等の備蓄、感染拡大時の患者受入体制整備

施設・設備の最適化

- ・ 予防保全・長寿命化等の取組、様々な医療DXの推進

当院5つの基本方針に基づく具体的な取り組み

1. 信頼される医療の追求

病床再編,悪性腫瘍への対応,手術件数増加,病床利用率維持・特殊病床利用率向上,救急疾患シェア拡大,不応需率低下,周産期医療受入強化,感染症・災害時の受け入れ,ニーズに応じた外来機能の充実等

病床再編	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
再編前(R4.4月時点)	27	332	48	0
再編後(R5.1月時点)	42	365	0	0

2. 医療の質の追究

看護部門充実,救急医療体制の検討,安全管理体制構築,医療ADR確立,専門職育成,クリニカルインディケーター活用,患者満足度向上,クリニカルパス適応拡大

3. 地域医療連携の追求

地域医療連携推進,地域住民への情報発信,かかりつけ医制度の推進

4. 誇りある組織風土の追求

事務職員の診療スタッフ支援,経営管理能力向上,人事評価制度改定と理解促進,働き方改革に対応したタスクシフトの推進

5. 健全経営の追求

投資に耐えうる経営の実現、診療情報統計の充実等、DPC係数の向上,施設基準の適切な管理